

新入社員の理想の上司・先輩は 「丁寧に指導する人」が約8割

日本能率協会が、同会が提供する新入社員向け公開教育セミナーの参加者を対象に実施した「2023年度新入社員意識調査」結果（有効回答数675人）によると、理想的だと思う上司・先輩（複数回答）は、第1位が「仕事について丁寧な指導をする上司・先輩」で79.0%と約8割だった。次いで「言動が一致している上司・先輩」（53.2%）、「部下の意見・要望を傾聴する上司・先輩」（47.3%）が続いた。仕事をしていく上での不安（複数回答）は、第1位が「上司・同僚など職場の人とうまくやっていけるか」で68.6%、第2位が「仕事に対する現在の自分の能力・スキル」で65.6%、第3位が「仕事での失敗やミス」で50.7%となった。

属性別に結果を抽出したところ、「仕事に対する現在の自分の能力・スキル」では男性60.4%に対して女性73.8%と13.4ポイントも高く、女性のほうが仕事をしていく上での不安を多く抱えがちな傾向にあると思われる。

仕事をしていく上での抵抗感については、「上司や先輩からの指示があいまいでも質問しないでとりあえず作業を進める」について、「抵抗がある」（「抵抗がある」＋「どちらかと言えば抵抗がある」）が83.7%となった。属性別に抽出すると、すべての高校卒群の「抵抗がある」のポイントが、高校卒外群より上回った。学生生活やアルバイト等の経験年数が増えることによって、抵抗感が抑えられている傾向にあると考えられる。

AIが自動回答、チャットボット 10月から年末調整の相談を開始

チャットボット（税務職員ふたば）は、個人の質問に対し、AI（人工知能）が自動回答するもの。国税庁はこのほど、そのチャットボットの年末調整に関する相談の対応が始まったと発表した。同庁は、個人の国税に関する相談は、チャットボットを気軽に利用するよう呼びかけている。チャットボットは、質問したいことをメニューから選択するか、自由に文字入力すればAIが自動回答する。土日、夜間でも、24時間利用できる。

チャットボットは、年末調整に関する相談（2023年分）、所得税の確定申告に関する相談（2022年分）、消費税の確定申告に関する相談（2022年分）、インボイス制度に関する相談、に対応している。

今回開始された年末調整の相談では、従業員が年末調整の各種申告書を作成する際に問合せが多い事項に対応している。

例えば、年末調整の各種申告書の内容、書き方、添付する書類に関することがある。

さらに、年末調整で適用される控除に関することや、2023年分の税制改正に関すること、マイナポータル連携などによる年末調整の手続きの電子化に関する質問、転職をした場合や育児休業を取得した場合など、その人の状況に応じて行う年末調整の手続きに関すること、年末調整のながれ（年税額の計算）や過不足額の精算に関する質問、などに対応しており、税務署の相談室に電話等で相談しなくても、手軽に回答が得られる。